



求められる人材 ～ 企業から求められる観点、社会人としてあるべき姿 ～

社会人と高校生の違いは何ですか。

一つは、責任の所在。高校生の段階では、まだ保護者や学校の監督下であり、保護されている立場。しかしながら、社会人にもなると、そうはいきません。結果責任ともいえる、厳しい価値判断が迫ります。過程(プロセス)いかんで許してもらおうということもありません。

みなさんにも、シビアな現実が迫ってきているのです。

ちなみに、ある教員採用試験時の観点として、必要な「**社会性**」について、「**問題解決能力**」「**豊かなコミュニケーション能力**」という項目が、下位項目として補足的に説明されています。

経済産業省の「社会人基礎力」のページでは、「社会人」として求められる資質と実践力について、次のような要素を挙げています。([3つの能力/12の能力要素]から抜粋)

①前に踏み出す力(アクション):このうち、「主体性」(物事に進んで取り組む力)と「働きかけ力」(他人に働きかけ巻き込む力)

とあり、先の「問題解決能力」「コミュニケーション能力」の補足説明にもなるでしょう。以下、②考え抜く力(シンキング)、③チームで働く力(チームワーク)と続いています。

AO入試や採用試験では、「求められる人材」を訴えています。一方、「求められない人材」とならないように、自分自身の適格性を見極めていく、といういわば逆転の発想もあります。

具体的な観点としては、「社会性」の他に、「発言の明確さ・的確さ」「使命感」「意欲的態度」「協調性」「専門的力量」なども挙げられると思います。

さて、進研データレビュー(平成23年6月調査:「入職初期のキャリア形成と世代間コミュニケーションに関する調査」から抜粋したもの)

■新規学卒者の採用において重視すること(今後重視すること:%)

- ①**コミュニケーション能力**が高いこと(69%)
- ②仕事に対する熱意があること(66.9%)
- ③チャレンジ精神があること(60.4%)
- ④職業意識・勤労意識が高いこと(57.3%)
- ⑤理解力や判断力があること(55.2%)
- ⑥組織への適応力があること(54.6%)
- ⑦社会常識やマナーが身につけていること(53.6%)
- ⑧柔軟な発想ができること(52.3%)
- ⑨リーダーシップがあること(40.4%)
- ⑩企画・立案力があること(36.5%)

■企業にとって望ましい人材像(上記と同様:%)

- ①**指示されたことだけでなく、自ら考え行動することのできる人材**(78%) (=問題解決能力)(以下省略)



ちなみに従来のトップは…
(1)仕事に対する熱意(77%)
(2)勤労意欲(64.5%)
(3)コミュニケーション能力(64.4%)
(4)社会常識(58.8%)
(5)社会への適応力(53.8%)
(6)チャレンジ精神/理解力・判断力(同率で50.7%)
(7)体力(39.9%)…など…

◆センター試験等、上級学校受験時期が切迫してきました! 残り72日(11/8(木)時点)。
ただし、焦らず、気負わず。「人事を尽くして天命を待つ」の心境。健闘を引き続き祈ります。